

令和 2 年度

財政援助団体等監査報告書

公益財団法人 武蔵野文化事業団

公益財団法人 武蔵野市国際交流協会

武蔵野市監査委員



⑤

2 武監第 2 1 7 号  
令和 3 年 2 月 8 日

武 蔵 野 市 長      松 下 玲 子 殿  
武蔵野市議会議長      小美濃 安 弘 殿

武蔵野市監査委員      名古屋 友 幸  
武蔵野市監査委員      落 合 勝 利

令和 2 年度財政援助団体等監査の結果報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により、下記について監査を実施したので、同条第9項の規定に基づき、その結果に関する報告を提出します。

指摘事項については、措置を講じたうえ、再発防止のための職員の研修や定期的な打合せでの事務統一等を行うようお願いします。

この監査の結果に基づき、又はこの監査の結果を参考として措置を講じたものについては、同条第14項の規定により、通知願います。

記

公益財団法人 武蔵野文化事業団  
公益財団法人 武蔵野市国際交流協会

## 目 次

第1	監査の種類	1
第2	監査の対象	1
第3	監査の範囲	1
第4	監査の期間	1
第5	監査の主眼と方法	1
第6	監査の結果	2
	公益財団法人武蔵野文化事業団	3
	公益財団法人武蔵野市国際交流協会	31

## 第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査

## 第2 監査の対象

対象団体	所管課
公益財団法人武蔵野文化事業団	市民部市民活動推進課
公益財団法人武蔵野市国際交流協会	市民部多文化共生・交流課

## 第3 監査の範囲

令和元年度における財政的援助、出資及び指定管理に係る出納その他の事務の執行

## 第4 監査の期間

令和2年9月29日から令和3年1月27日まで

説明聴取日

公益財団法人武蔵野文化事業団

令和2年12月15日

公益財団法人武蔵野市国際交流協会

令和2年12月10日

## 第5 監査の主眼と方法

財政的援助、出資及び指定管理に係る出納その他の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかを主眼として、所管課、財政援助団体等の関係帳簿と証拠書類の照合、関係者からの説明聴取等、武蔵野市監査基準に従い、監査を実施した。

### 1 財政援助に係ること

#### (1) 所管課

ア 補助金交付要綱等により、補助金の交付目的及び補助金対象事業の内容が明確にされているか。

イ 補助金の額の算定、交付手続、交付時期等は適切か。

ウ 補助金対象事業に関する団体への指導監督は、適切に行われているか。

#### (2) 財政援助団体等

ア 経理規程等諸規程は、整備されているか。

イ 補助金対象事業は、補助の目的に沿って適正かつ効率的に執行されているか。

ウ 補助金等に係る会計経理は、適切に行われているか。

### 2 出資に係ること

#### (1) 所管課

ア 団体への出資目的に沿った事業運営が行われていることを確認しているか。

イ 団体への指導監督は、適切に行われているか。

#### (2) 財政援助団体等

ア 定款及び経理規程等諸規程は、整備されているか。

イ 事業は、設立（出資）目的に沿って適正かつ効率的に運営されているか。

ウ 会計経理、出資金及び出えん金の管理運用並びに財産の管理は、適切に行われているか。

### 3 指定管理者に係ること（公益財団法人武蔵野文化事業団）

#### (1) 所管課

- ア 指定管理者の指定手続は、適正・公正に行われているか。
- イ 協定書等には必要事項が適正に記載されているか。
- ウ 債務負担行為の設定は、行われているか。
- エ 管理に関する経費の算定、支出の方法、時期、手続等は、適正に行われているか。
- オ 事業報告書等の点検は、適切に行われているか。
- カ 指定管理者に対する指導監督は、適切に行われているか。

#### (2) 財政援助団体等

- ア 施設は関係法令の定めるところにより適切に管理されているか。
- イ 協定等に基づく義務の履行は、適切に行われているか。
- ウ 事業報告書等は適正に作成され、期限までに提出されているか。
- エ 公の施設の管理に係る収支会計経理は、適正に行われているか。
- オ 利用者への安全確保や利用者ニーズの把握に向けた取組がされているか。

## 第6 監査の結果

「第5 監査の主眼と方法」に掲げたとおり審査した限りにおいて、所管課における財政援助団体等への補助金等の交付及び指定管理者に関する事務並びに財政援助団体等における補助事業の実施、出納、指定管理者としての業務に関する出納その他の事務については、おおむね適正かつ効率的に執行されていることが認められた。

改善又は検討を要する事項については、それぞれのところで述べるので、適切な対応を検討され、適正な事務の執行に努められたい。

なお、文中「指摘事項」とは、武蔵野市監査基準第16条第4項にいう「是正」を指し、不当又は不正な事務処理があった場合に、その事実を指摘して是正を求めるものであり、「監査意見」とは、武蔵野市監査基準第16条第4項にいう「改善」を指し、不当又は不正な事務処理には該当しないが改善の可能性があるとして認められる事実があった場合に、市の組織及び運営の合理化に資するための意見を表明するものである。

# 公益財団法人武蔵野文化事業団

## 第1 概要

### 1 目的

公益財団法人武蔵野文化事業団（以下「事業団」という。）は、市民に優れた芸術文化を提供し、市民みずから行う芸術文化の創造活動を援助し、市民の文化、福祉の向上を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

（事業団定款第3条）

### 2 事業

- （1）市民文化の振興を図るための文化事業の企画と実施
- （2）地域文化の活性化を図るため、市民団体等の舞台芸術活動に対する援助
- （3）武蔵野市から受託する文化施設の管理運営
- （4）その他事業団の目的を達成するために必要な事業

（事業団定款第4条）

### 3 設立

昭和59年11月1日 財団法人武蔵野文化事業団

平成23年4月1日 公益財団法人武蔵野文化事業団

### 4 組織

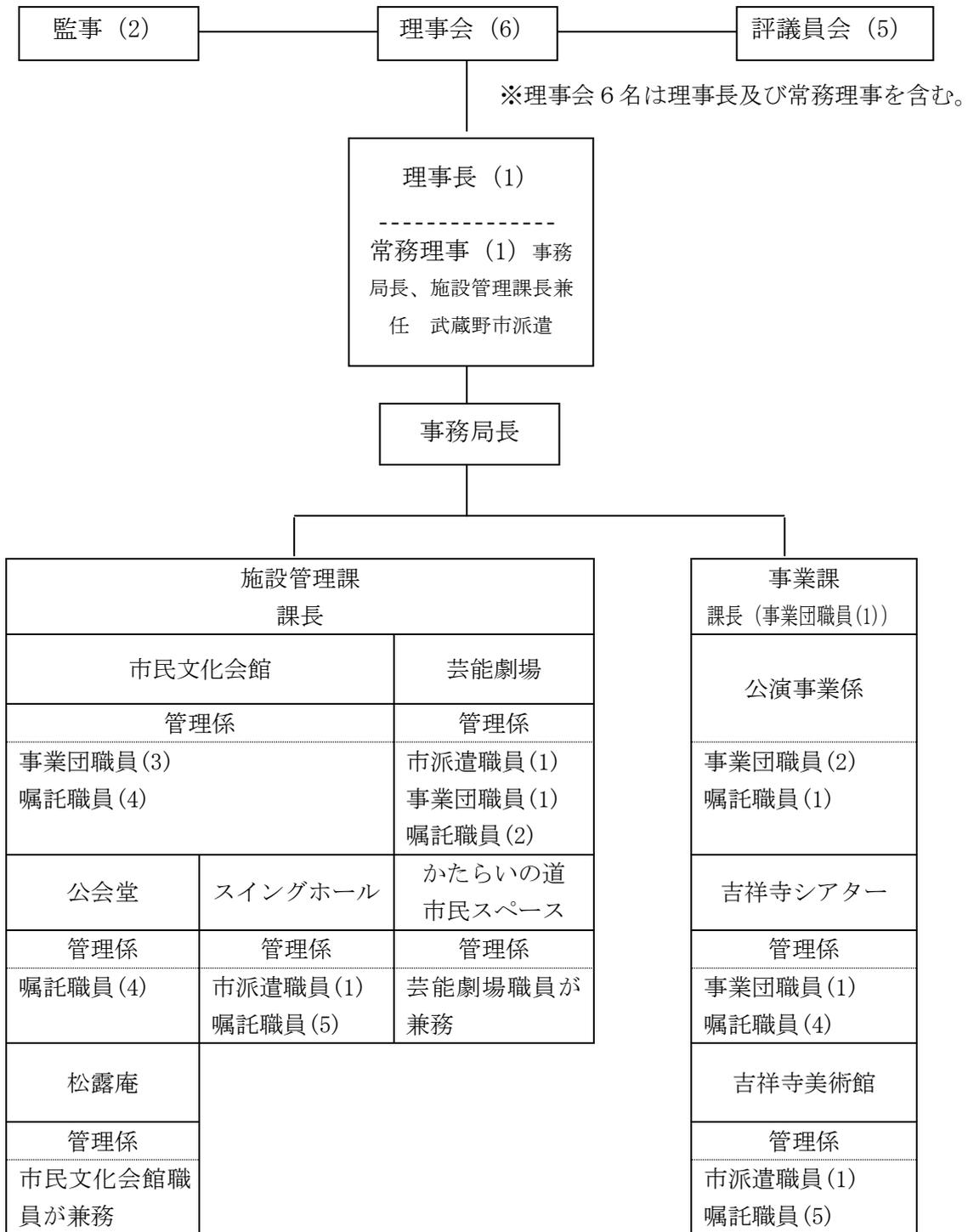
事業団の職員は、市派遣職員4名、職員8名、嘱託職員25名、合計37名で、組織並びに評議員、役員及び職員の配置状況は次ページのとおりである。

なお、事業団の機構改革に伴い、令和2年4月1日から管理課（総務係、芸能劇場、公会堂、スイングホール）及び事業課（公演事業係、吉祥寺シアター、吉祥寺美術館）の組織体制となった。

また、市の第五期長期計画・調整計画において、事業団と公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団の「統合の準備を進める」と示されたことから、平成31年4月に両法人与市による「文化事業団と生涯学習振興事業団の統合検討委員会」が設置された。さらなる市民文化の発展と持続可能な法人経営を推進するため、統合の効果と課題整理を行い、令和2年7月に報告書としてとりまとめ、これを踏まえ、両事業団は覚書を締結するとともに、合併準備会を設置し、令和4年4月1日の合併に向け、準備を進めている。

公益財団法人武蔵野文化事業団事務局組織（（ ）内は人数）

令和2年3月30日現在



事業団職員 8名、市派遣職員 4名、嘱託職員 25名 合計 37名

## 第2 事業の状況

### 1 経営状況

令和元年度の財務の状況は、別表1から別表4までのとおりである。

#### (1) 決算状況

経常収益は9億1,773万4千円、経常費用は9億2,273万4千円で、当期一般正味財産増減額はマイナス507万円である。

主な収益は、指定管理料7億4,429万1千円、入場料収益1億4,363万5千円で、経常収益に占める割合は、それぞれ81.1%、15.7%である。

主な支出は、事業費の委託費5億5,062万7千円、職員給料1億7,410万2千円で、経常費用に占める割合は、それぞれ59.7%、18.9%である。

#### (2) 財政状況

##### ア 資産

当年度末における資産総額は10億51万3千円で、内訳は、流動資産が1億2,667万5千円、固定資産が8億7,383万8千円である。

流動資産は、当年度で3,227万6千円、前年度比20.3%減少している。これは現金預金や未収金が減少したことが主な要因である。

固定資産は、当年度で22万2千円、前年度比0.03%減少している。これは、その他固定資産の有形リース資産が減少したことが主な要因である。

##### イ 負債

当年度末における負債総額は1億2,676万1千円で、内訳は、流動負債が8,659万3千円、固定負債が4,016万8千円である。

流動負債は、当年度で2,640万8千円、前年度比23.4%減少している。これは、未払金が減少したこと、新型コロナウイルス感染症の影響で公演中止等により当年度中のチケット販売に伴う前受金が減少したことによるものが主な要因である。

固定負債は、当年度で102万円、前年度比2.5%減少している。これは、リース債務が減少したためである。

##### ウ 正味財産

一般正味財産は7,065万円で、当年度で507万円、前年度比6.7%減少している。指定正味財産は8億310万2千円で、正味財産期末残高は8億7,375万2千円である。

### 2 実施事業

令和元年度の主要事業の概要は、別紙のとおりである。

## 第3 補助金

令和元年度は市からの補助金の交付はない。

## 第4 管理運営

### 1 定款及び諸規程の整備

事業団では定款のほか、事務規程、就業規則、会計事務規程、個人情報保護規程等を受け、事務処理等を行っている。

## 2 会計処理

会計処理は、定款、会計事務規程、契約事務規程のほか、公益法人会計基準に基づき行われている。

## 3 出えん金と基本財産の管理

### (1) 出えん金と基本財産

事業団の基本財産は8億172万円で、このうち8億円（99.8%）は市の出えんによるものである。

### (2) 基本財産の保管及び運用益

基本財産は、定期預金及び投資有価証券で運用しており、令和元年度は496,719円の利息収入及び50,000円の配当金収入があった。これは、経常収益の0.1%にあたる。預金先及び内訳は、次表のとおりである。なお、運用益については、事業団の芸術文化振興事業費の一部として全額充当されている。

種類	金融機関・発行者	金額	運用益
定期預金	みずほ銀行	60,000,000円	6,032円
	三菱UFJ銀行	354,220,000円	35,437円
	大東京信用組合	140,000,000円	140,000円
	東京むさし農業協同組合	242,500,000円	315,250円
投資有価証券	エフエムむさしの	5,000,000円	50,000円
	計	801,720,000円	546,719円

## 4 個人情報の保護及び管理体制

事業団では、個人情報保護規程、特定個人情報の保護規程、情報公開規程等を定めている。

パソコンはセキュリティワイヤーで固定し、盗難防止策を図っている。

また、個人情報や特定個人情報を含む書類については、鍵のかかるキャビネット等で保管している。

職員に対する個人情報保護に係る教育としては、新人職員の採用時研修において、個人情報保護の研修を行っている。また、市情報管理課が主催する情報セキュリティ研修に各施設から職員が参加し、参加職員が各施設の会議等で研修内容を報告する等の取組がされている。

管理運営について、総勘定元帳、支出伝票、振替伝票、契約書、預金通帳、根拠法令に定められている各種様式、超過勤務命令書、出張命令書、勤務表、就業日報等を抽出で審査し、情報セキュリティ研修の受講状況、書類の保管状況等を現地調査及びヒアリングした結果、下記の事項を除き、おおむね適正に処理されているものと認められた。

## 記

### [事業団 指摘事項]

- 1 切手・葉書受払簿において、訂正箇所<sup>①</sup>に訂正印の押印がないもの、修正液使用後に訂正印を押印しているもの、確認者欄に押印がないもの、購入枚数（頁計／月累計）又は使用枚数（頁計／月累計）に誤りがあるもの、繰越枚数が記載されていないものが見受けられた。
- 2 支出伺、振替伺及び振替伝票並びに自主事業にかかる公演開催の起案書において、それぞれの決裁権者の決裁印の押印がないものが多数見受けられた。
- 3 振替伺において、諸謝金（登壇謝金、制作業務助手謝金等）の1万円を超え2万円以下の支出の専決は事務局長であるが、課長（又は課長職である館長）決裁のものが多数見受けられた。
- 4 振替伺において、課長決裁欄に令和2年4月以降着任の専決権限のない担当課長印が押印されているものがあった。
- 5 委託等・支出負担行為兼契約締結伺およびてんまつ書において、契約確定日及び第1回の見積金額が記載されていないものが見受けられた。
- 6 委託等・支出負担行為兼契約締結伺およびてんまつ書において、契約締結に公印を使用しているが公印管守者欄に押印がないものが見受けられた。
- 7 委託等・支出負担行為兼契約締結伺およびてんまつ書において、特命随意契約をしているが、指定理由欄に随意契約の根拠規定のみを記載し、特命随意契約とした理由の記載がないものが見受けられた。また、当該根拠規定として記載した条項番号に誤りが見受けられた。
- 8 委託等・支出負担行為兼契約締結伺およびてんまつ書において、摩擦消去タイプのペンを使用しているものが多数見受けられた。
- 9 委託等・支出負担行為兼契約締結伺およびてんまつ書において、件名の訂正箇所<sup>②</sup>に訂正印が押印されていないものが見受けられた。
- 10 自主事業にかかる契約締結の起案書において、公印管守者印が押印されていないものが多数見受けられた。
- 11 自主事業にかかる契約締結の起案書において、契約書の収入印紙の金額に誤りのあるものが見受けられた。
- 12 収入については、専決区分が定められていないが、運用として課長決裁としているものがあった。

事務規程等に基づき、適正に処理されたい。

### [事業団 監査意見]

#### 1 決裁区分等について

「館長」の事務の専決区分について事務規程において定められたい。また、会計システムの更新に合わせ伝票の様式やマニュアルの整備を図られたい。

## 第5 指定管理者

### 1 指定管理の概要

事業団は、昭和59年11月の市民文化会館開館時に市の出資（出えん）によって発足し、市民文化会館のほか、芸能劇場等の管理運営を市から受託してきた。地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、平成17年度からは指定管理者として、8施設の管理運営を行っている。現在の指定管理期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までである。

指定管理施設の概要は、次のとおりである。

施設名	所在地	設置目的等
武蔵野市民文化会館	武蔵野市中町3丁目9番11号	市民文化創造の拠点として、多目的の大ホールとパイプオルガンのある小ホール、展示室等を備える。
武蔵野芸能劇場	武蔵野市中町1丁目15番10号	郷土の古典芸能の保存、育成及び芸術文化の振興を図るため、小劇場、小ホールを備える。
武蔵野公会堂	武蔵野市吉祥寺南町1丁目6番22号	市民および地域社会の福祉の増進と文化の向上に寄与するため、多目的ホール、会議室等を備える。
武蔵野スイングホール	武蔵野市境2丁目14番1号	市民の創造性あふれる文化活動の場を提供するとともに、芸術文化の振興を図るため、イベントホール、レセプションルーム等を備える。
吉祥寺美術館	武蔵野市吉祥寺本町1丁目8番16号 F Fビル7階	市民が美術その他の芸術文化を享受することに寄与し、その創造及び発展に資するため、常設展示室、企画展示室等を備える。
松露庵	武蔵野市桜堤1丁目4番22号	市民が茶会等の日本の伝統的文化に親しむ場として、茶室を備える。
吉祥寺シアター	武蔵野市吉祥寺本町1丁目33番22号	芸術文化の振興を図るため、演劇その他舞台芸術の創造、普及及び発信の拠点として劇場、けいこ場を備える。
かたらいの道市民スペース	武蔵野市中町1丁目11番16号	市民の活動、交流等を促進することにより、市民文化の振興を図るため、多目的スペースを備える。

管理経費等について、市は、各施設ごとに算定し、年4回に分けて概算払により支払っている。

令和元年度の支払総額は、7億4,429万1千円で、精算戻入金額は1,186万2千円である。年度協定期間終了後、60日以内に市に精算書を提出し、精算残金が生じたときは速やかに市へ返納することになっている。

令和元年度の管理経費等の支払状況は、次のとおりである。

(単位：円)

施設名	概算払額 (戻入金額)	区分	支払金額 (戻入金額)	支払日 (戻入日)
武蔵野市民文化会館	374,491,000 (5,694,345)	第1回	95,240,889	平成31年4月10日
		第2回	95,240,889	令和元年7月1日
		第3回	97,004,609	令和元年10月1日
		第4回	87,004,613	令和2年1月27日
		戻入	△5,694,345	令和2年5月25日
武蔵野芸能劇場	65,687,000 (4,509,893)	第1回	17,261,917	平成31年4月10日
		第2回	17,261,917	令和元年7月1日
		第3回	17,581,582	令和元年10月1日
		第4回	13,581,584	令和2年1月27日
		戻入	△4,509,893	令和2年5月25日
武蔵野公会堂	59,541,000 (809,715)	第1回	14,748,688	平成31年4月10日
		第2回	14,748,688	令和元年7月1日
		第3回	15,021,812	令和元年10月1日
		第4回	15,021,812	令和2年1月27日
		戻入	△809,715	令和2年5月25日
武蔵野スイングホール	70,044,000 (83,653)	第1回	17,350,349	平成31年4月10日
		第2回	17,350,349	令和元年7月1日
		第3回	17,671,651	令和元年10月1日
		第4回	17,671,651	令和2年1月27日
		戻入	△83,653	令和2年5月25日
吉祥寺美術館	81,278,000 (78,432)	第1回	20,133,082	平成31年4月10日
		第2回	20,133,082	令和元年7月1日
		第3回	20,505,917	令和元年10月1日
		第4回	20,505,919	令和2年1月27日
		戻入	△78,432	令和2年5月25日
松露庵	6,938,000 (262,602)	第1回	1,718,587	平成31年4月10日
		第2回	1,718,587	令和元年7月1日
		第3回	1,750,413	令和元年9月24日

		第4回	1,750,413	令和2年1月27日
		戻入	△262,602	令和2年5月25日
吉祥寺シアター	80,635,000 (177,901)	第1回	20,716,926	平成31年4月10日
		第2回	20,716,926	令和元年7月1日
		第3回	21,100,572	令和元年10月1日
		第4回	18,100,576	令和2年1月27日
		戻入	△177,901	令和2年5月25日
かたらいの道市民 スペース	5,677,000 (245,003)	第1回	1,406,229	平成31年4月10日
		第2回	1,406,229	令和元年7月1日
		第3回	1,432,270	令和元年10月1日
		第4回	1,432,272	令和2年1月27日
		戻入	△245,003	令和2年5月25日
		支払金額計	744,291,000	
		戻入計	△11,861,544	

指定管理料の精算については、収入と支出の差引額を返納（ゼロ精算）している。収入額には市からの管理受託収入以外に自主事業の入場料収入等を含め、支出額には、事業団におけるすべての費用を含めて計算しており、事業団全体の収支を基に指定管理業務の精算を行っている。

## 2 施設の安全管理

事業団では、火災、震災、事件、事故等の事態を想定し、緊急対応マニュアルを作成している。マニュアルは、職員に周知するとともに、いつでも確認することができるよう非常放送設備等の必要な場所に備え付けている。市民文化会館等では、総合管理受託業者が警備等の業務を行っているため、災害時の対応内容と職員との役割分担についても定めている。

その他、消防訓練に加え、警察と合同の防犯訓練や、消防署と合同で市民も含めた避難訓練コンサートを行っている。

## 3 備品等の管理

基本協定書及び会計事務規程に基づき、備品の購入及び修繕については市が行うこととされている。会計事務規程には、什器備品については年1回以上什器備品台帳と現物の照合を行わなければならないと規定されている。主管課の所持する備品台帳を事業団でも保管し年に一度、現物の照合を行い管理している。また、リース契約による有形リース資産及び無形リース資産については、事業団の固定資産台帳へ記録している。

#### 4 市の公の施設のモニタリング

##### (1) 概要

市では、公の施設の管理運営が適切に行われているかを確認し、評価するモニタリングを実施している。モニタリングは、主管課及び指定管理者による一次評価並びにモニタリングの客観性及び透明性を確保するための外部委員を含めたモニタリング評価委員会による二次評価を行っている。評価結果については、「武蔵野市公の施設のモニタリング評価結果報告書」として市ホームページで公表され、点検・評価に使用したすべての資料も掲載している。

##### (2) 評価結果と指摘事項に対する取組状況

令和元年度を評価対象とした令和2年度モニタリング評価結果は、次のとおりである。

###### ア 市民文化会館

総合満足度の指数は89.0で、前年度93.7と比較し減少しているものの、依然として高い水準を保ち、期待以上の運営が行われている。「地域との連携」について、満足度が昨年度より6.4ポイント向上しており、市内大学生に「アルテ親子まつり」の運営ボランティアに参加してもらい交流を図ったほか、フルート奏者による市内小学生向けアウトリーチ事業の実施など、地域とのかかわりを持った事業展開に努めたことは評価できる。

###### イ 芸能劇場

総合満足度の指数は75.3と前年度84.9から減少しているが、小劇場の利用率が82.6%と昨年度を上回っており、全体的に適正な管理運営を行っている。定期的な設備点検やきめ細かに清掃を実施しているほか、工事での休館中を利用して古い障子紙を職員が貼り替えるなど、快適に利用いただくための適切な設備管理を行っている。

###### ウ 公会堂

築後50年が経過し、他の施設と比較して施設面での課題が多い中、満足度を主に押し下げているのは施設設備やバリアフリーの部分である。

ハード面の弱点を補う職員の対応が評価され、また、各項目の満足度は全て前年度を上回っており、その結果、総合満足度の指数は53.1（前年度48.7）と前年度に引き続き上昇し、全体的に適正な管理運営がなされている。

前年度課題になっていた「情報の提供」について、満足度が前年度は30%台であったのに対し、ラックの増設やパンフレットの作成により、当年度は50%台まで満足度を向上させている。

###### エ スイグホール

総合満足度の指数は83.4（前年度83.1）と引き続き向上している。

設備に対する指摘は多少あるものの、「建物・設備・備品等の管理」の平均満足度は82.3（前年度82.1）と高い水準を維持している。また、平均利用率が62.0%（前年度61.3%）と若干向上しており、全体的に適正な運営が行われている。

###### オ 吉祥寺美術館

総合満足度の指数が91.3（前年度93.9）と若干低下したものの、継続して高い評価を得ている。

来館者の利用頻度のうち、「月に数回」と「年に数回」の項目が48.0%と、前年

度39.3%から8.7ポイント増加している。リピーターの獲得ができており、満足度を含め、期待以上の運営ができています。

武蔵野アール・ブリュットの実行委員会事務局を務め、市内各団体と協働で企画展を実施し、商業施設内の書店や図書館等とタイアップした事業を行うなど、引き続き地域との連携に向けた取組を進めている。

#### カ 松露庵

総合満足度の指数が89.6（前年度91.1）と前年度と比較して少し下がったものの、「職員の対応」の平均満足度が91.3（前年度89.6）、「建物・設備・備品等の管理」の平均満足度が92.4（前年度89.3）と前年に引き続き高い評価を得ており、全体的に適正な管理が行われている。

新たな試みとしてシアターカフェ「なおきち」と協働で地域開放イベントを実施するなど、地域と連携した事業展開や地域の居場所づくりに取り組んでいる。

#### キ 吉祥寺シアター

総合満足度の指数は82.4（前年度82.3）と前年度に引き続き安定した運営が行われている。

他施設にシアターカフェが出張してイベントを開催し、集客に努めたほか、ファミリーシアターを開催してターゲット層の拡大に努めており、施設全体の利用率も93.7%と高く、期待以上の運営が行われている。

「職員の対応」の平均満足度が84.0（前年度81.7）と前年度より向上し、また、「建物・設備・備品等の管理」の平均満足度が84.6（前年度85.2）と前年度に引き続き高い水準を維持しており、職員の丁寧な対応が高い評価を得ている。

#### ク かたらいの道市民スペース

総合満足度の指数は75.0（前年度75.7）と前年度と同程度を維持しており、「職員の対応」の平均満足度が70.6（前年度67.5）と前年度と比較して向上しているほか、施設の清掃状況や備品管理の満足度も高く、全体的に適正な運営がなされている。

指定管理者について、基本協定書、年度協定書、事業計画書、事業報告書、精算書、財務諸表、防火管理者選任届、消防用設備点検報告書、備品台帳、モニタリング評価結果等を審査し、備品の保管状況等を実地調査した結果、下記の事項を除き、おおむね適正に実施されているものと認められた。

#### 記

##### [事業団 指摘事項]

- ① 抽出して備品の現物確認をしたところ、備品シールの貼付がされていないもの、廃棄処分をしたがその手順が漏れているものが見受けられた。
- ② 火気使用場所点検表において、事務局長印の押印がないものが見受けられた。

協定書、規程等に基づき、適正に処理されたい。

[事業団・市民活動推進課 監査意見]

1 事業団と生涯学習振興事業団との統合について

事業団及び生涯学習振興事業団の統合については、具体的なスケジュールが示されたところではあるが、市と両事業団が一層の連携・協力のもと、課題解決へ向けて努力されたい。

## 第6 その他

[事業団 監査意見]

1 新型コロナウイルス感染症禍における事業活動について

新型コロナウイルス感染症の影響下で、公演や展示の動画配信など様々な試みをされており、また、観客を入れつつ動画を配信するハイブリッド型の公演も予定しているとのことだが、今後も工夫を凝らし経営の安定化に努められたい。

2 公益財団法人としてのガバナンスの向上等について

中期計画を策定し、事業だけでなく、人事や財務等の資質の向上を図るとともに、会計業務体制の充実・強化により、収支相償等の報告も適切に実施されるようになった。今後も、ガバナンスの向上等に向けて継続して取り組まれたい。



## 別表1

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
流動資産			
現金預金	120,479,442	146,202,012	△ 25,722,570
未収金	1,423,441	8,702,842	△ 7,279,401
前払金	2,748,780	1,867,046	881,734
貯蔵品	1,949,591	2,046,568	△ 96,977
立替金	65,449	86,300	△ 20,851
仮払金	7,880	45,991	△ 38,111
流動資産合計	126,674,583	158,950,759	△ 32,276,176
固定資産			
基本財産			
定期預金	796,720,000	796,720,000	0
投資有価証券	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	801,720,000	801,720,000	0
特定資産			
退職給付引当資産	28,598,777	22,964,271	5,634,506
公演積立資産	22,101,873	22,101,873	0
特定資産合計	50,700,650	45,066,144	5,634,506
その他固定資産			
有形リース資産	18,224,460	27,274,428	△ 9,049,968
無形リース資産	3,193,344	0	3,193,344
その他固定資産合計	21,417,804	27,274,428	△ 5,856,624
固定資産合計	873,838,454	874,060,572	△ 222,118
資産合計	1,000,513,037	1,033,011,331	△ 32,498,294
<b>II 負債の部</b>			
流動負債			
未払金	44,868,344	67,242,148	△ 22,373,804
未払法人税等	70,000	0	70,000
前受金	20,883,870	30,741,990	△ 9,858,120
預り金	10,922,369	5,966,621	4,955,748
一年内返済予定リース債務	9,848,304	9,049,968	798,336
流動負債合計	86,592,887	113,000,727	△ 26,407,840
固定負債			
退職給付引当金	28,598,777	22,964,271	5,634,506
リース債務	11,569,500	18,224,460	△ 6,654,960
固定負債合計	40,168,277	41,188,731	△ 1,020,454
負債合計	126,761,164	154,189,458	△ 27,428,294
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産			
武蔵野市出捐金	800,000,000	800,000,000	0
寄付金	3,101,873	3,101,873	0
指定正味財産合計	803,101,873	803,101,873	0
(うち基本財産への充当額)	( 801,000,000 )	( 801,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 2,101,873 )	( 2,101,873 )	( 0 )
一般正味財産	70,650,000	75,720,000	△ 5,070,000
(うち基本財産への充当額)	( 720,000 )	( 720,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 20,000,000 )	( 20,000,000 )	( 0 )
正味財産合計	873,751,873	878,821,873	△ 5,070,000
負債及び正味財産合計	1,000,513,037	1,033,011,331	△ 32,498,294

## 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 546,719 ]	[ 662,612 ]	[ △115,893 ]
基本財産受取利息	496,719	612,612	△115,893
基本財産受取配当金	50,000	50,000	0
特定資産運用益	[ 4,320 ]	[ 5,726 ]	[ △1,406 ]
特定資産受取利息	4,320	5,726	△1,406
受取会費	[ 7,303,000 ]	[ 7,557,000 ]	[ △254,000 ]
ARTE友の会受取会費	7,303,000	7,557,000	△254,000
事業収益	[ 898,149,113 ]	[ 929,859,971 ]	[ △31,710,858 ]
入場料収益	143,635,420	141,218,952	2,416,468
付帯サービス収益	4,784,583	39,503,514	△34,718,931
物品販売収益	5,438,110	11,325,505	△5,887,395
管理受託収益	744,291,000	737,812,000	6,479,000
受取補助金等	[ 2,090,000 ]	[ 7,106,000 ]	[ △5,016,000 ]
受取日本芸術文化振興会補助金	1,590,000	5,858,000	△4,268,000
受取民間助成金	500,000	1,248,000	△748,000
受取負担金	[ 2,896,784 ]	[ 2,738,769 ]	[ 158,015 ]
受取負担金	2,896,784	2,738,769	158,015
雑収益	[ 6,743,700 ]	[ 6,839,488 ]	[ △95,788 ]
受取利息	2,241	2,282	△41
受取手数料	4,356,845	4,943,579	△586,734
雑収益	2,384,614	1,893,627	490,987
経常収益計	917,733,636	954,769,566	△37,035,930
(2) 経常費用			
事業費	[ 880,142,684 ]	[ 923,966,944 ]	[ △43,824,260 ]
役員報酬	5,866,000	6,745,312	△879,312
給料手当	174,101,765	187,193,500	△13,091,735
臨時雇賃金	3,088,483	918,576	2,169,907
退職給付費用	6,180,627	1,580,527	4,600,100
退職金掛金	863,100	1,044,360	△181,260
福利厚生費	29,420,196	26,835,298	2,584,898
会議費	0	109,421	△109,421
旅費交通費	3,988,133	18,932,077	△14,943,944
通信運搬費	16,257,672	15,731,170	526,502
減価償却費	8,679,047	9,898,859	△1,219,812
消耗品費	16,613,016	14,027,378	2,585,638
修繕費	5,381	35,640	△30,259
印刷製本費	16,307,641	13,759,561	2,548,080
燃料費	29,012	32,901	△3,889
使用料	1,102,981	1,341,586	△238,605
賃借料	5,996,528	6,833,168	△836,640
保険料	593,061	607,142	△14,081
諸謝金	1,244,324	1,328,453	△84,129
租税公課	23,123,171	21,268,024	1,855,147
支払負担金	2,279,370	150,000	2,129,370
委託費	550,626,875	580,537,929	△29,911,054
手数料	4,915,284	6,223,436	△1,308,152
広告宣伝費	8,454,505	8,756,820	△302,315
交際費	4,311	13,407	△9,096
雑費	402,201	62,399	339,802

## 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日 から 令和 2年 3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	[ 30,729,408 ]	[ 19,562,785 ]	[ 11,166,623 ]
役員報酬	1,779,000	1,306,868	472,132
給料手当	7,455,324	8,003,059	△547,735
退職給付費用	264,239	67,572	196,667
退職金掛金	36,900	35,640	1,260
福利厚生費	1,270,598	1,158,962	111,636
会議費	6,615	9,346	△2,731
旅費交通費	15,563	28,097	△12,534
通信運搬費	94,504	81,752	12,752
減価償却費	1,169,257	423,205	746,052
消耗品費	86,066	528,465	△442,399
印刷製本費	0	21,657	△21,657
燃料費	1,240	1,407	△167
賃借料	148,202	126,299	21,903
保険料	171,957	165,704	6,253
租税公課	983,879	823,317	160,562
委託費	16,362,047	5,979,720	10,382,327
手数料	84,956	131,903	△46,947
諸会費	708,424	635,939	72,485
交際費	88,073	31,823	56,250
雑費	2,564	2,050	514
武蔵野市返納金	[ 11,861,544 ]	[ 12,920,020 ]	[ △1,058,476 ]
武蔵野市返納金	11,861,544	12,920,020	△1,058,476
経常費用計	922,733,636	956,449,749	△33,716,113
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,000,000	△1,680,183	△3,319,817
当期経常増減額	△5,000,000	△1,680,183	△3,319,817
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△5,000,000	△1,680,183	△3,319,817
他会計振替額	0	0	0
過年度他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△5,000,000	△1,680,183	△3,319,817
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△5,070,000	△1,750,183	△3,319,817
一般正味財産期首残高	75,720,000	77,470,183	△1,750,183
一般正味財産期末残高	70,650,000	75,720,000	△5,070,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	803,101,873	803,101,873	0
指定正味財産期末残高	803,101,873	803,101,873	0
III 正味財産期末残高	873,751,873	878,821,873	△5,070,000

## 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計	
	公1 芸術文化 振興事業	収1 付帯サービス 事業	他1 施設貸与 等事業	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[ 546,719 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	
基本財産受取利息	496,719	0	0	
基本財産受取配当金	50,000	0	0	
特定資産運用益	[ 3,841 ]	[ 148 ]	[ 234 ]	
特定資産受取利息	3,841	148	234	
受取会費	[ 7,303,000 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	
A R T E友の会受取会費	7,303,000	0	0	
事業収益	[ 734,977,088 ]	[ 47,493,305 ]	[ 81,340,082 ]	
入場料収益	143,635,420	0	0	
付帯サービス収益	0	4,784,583	0	
物品販売収益	0	0	5,438,110	
管理受託収益	591,341,668	42,708,722	75,901,972	
受取補助金等	[ 2,090,000 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	
受取日本芸術文化振興会補助金	1,590,000	0	0	
受取民間助成金	500,000	0	0	
受取負担金	[ 2,896,784 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	
受取負担金	2,896,784	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
雑収益	[ 2,119,317 ]	[ 4,421,372 ]	[ 124,225 ]	
受取利息	1,778	143	226	
受取手数料	0	4,356,845	0	
雑収益	2,117,539	64,384	123,999	
経常収益計	749,936,749	51,914,825	81,464,541	
(2) 経常費用				
事業費	[ 769,213,746 ]	[ 42,046,160 ]	[ 68,218,566 ]	
役員報酬	4,949,000	182,000	728,000	
給料手当	144,135,552	11,229,198	18,543,975	
臨時雇賃金	2,550,855	303,349	234,279	
退職給付費用	5,110,781	412,471	650,931	
退職金掛金	713,700	57,600	90,900	
福利厚生費	24,350,076	1,951,935	3,090,563	
旅費交通費	3,925,120	24,294	38,340	
通信運搬費	15,875,047	147,518	232,803	
減価償却費	7,176,621	578,820	913,759	
消耗品費	16,264,554	134,347	212,016	
修繕費	0	0	5,381	
印刷製本費	15,827,611	0	480,030	
燃料費	23,991	1,936	3,055	
使用料	1,102,981	0	0	
賃借料	5,396,491	231,340	365,083	
保険料	530,854	24,100	37,734	
諸謝金	1,244,324	0	0	
租税公課	19,139,661	1,535,811	2,423,702	
支払負担金	2,279,370	0	0	
委託費	485,381,029	25,094,806	39,766,611	
手数料	4,571,314	132,615	209,283	
広告宣伝費	8,268,690	0	185,815	
交際費	4,311	0	0	
雑費	391,813	4,020	6,306	

(単位 : 円)

収益事業等会計		法人会計	内部取引 等消去	合 計
他2 カフェ 事業	小計			
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 546,719 ]
0	0	0	0	496,719
0	0	0	0	50,000
[ 2 ]	[ 384 ]	[ 95 ]	[ 0 ]	[ 4,320 ]
2	384	95	0	4,320
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 7,303,000 ]
0	0	0	0	7,303,000
[ 1,015,020 ]	[ 129,848,407 ]	[ 33,323,618 ]	[ 0 ]	[ 898,149,113 ]
0	0	0	0	143,635,420
0	4,784,583	0	0	4,784,583
0	5,438,110	0	0	5,438,110
1,015,020	119,625,714	33,323,618	0	744,291,000
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2,090,000 ]
0	0	0	0	1,590,000
0	0	0	0	500,000
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2,896,784 ]
0	0	0	0	2,896,784
0	0	0	0	0
[ 2 ]	[ 4,545,599 ]	[ 78,784 ]	[ 0 ]	[ 6,743,700 ]
2	371	92	0	2,241
0	4,356,845	0	0	4,356,845
0	188,383	78,692	0	2,384,614
1,015,024	134,394,390	33,402,497	0	917,733,636
[ 664,212 ]	[ 110,928,938 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 880,142,684 ]
7,000	917,000	0	0	5,866,000
193,040	29,966,213	0	0	174,101,765
0	537,628	0	0	3,088,483
6,444	1,069,846	0	0	6,180,627
900	149,400	0	0	863,100
27,622	5,070,120	0	0	29,420,196
379	63,013	0	0	3,988,133
2,304	382,625	0	0	16,257,672
9,847	1,502,426	0	0	8,679,047
2,099	348,462	0	0	16,613,016
0	5,381	0	0	5,381
0	480,030	0	0	16,307,641
30	5,021	0	0	29,012
0	0	0	0	1,102,981
3,614	600,037	0	0	5,996,528
373	62,207	0	0	593,061
0	0	0	0	1,244,324
23,997	3,983,510	0	0	23,123,171
0	0	0	0	2,279,370
384,429	65,245,846	0	0	550,626,875
2,072	343,970	0	0	4,915,284
0	185,815	0	0	8,454,505
0	0	0	0	4,311
62	10,388	0	0	402,201

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計	
	公 1 芸術文化 振興事業	収 1 付帯サービス 事業	他 1 施設貸与 等事業	
管理費	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
退職金掛金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
燃料費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
保険料	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
委託費	0	0	0	
手数料	0	0	0	
諸会費	0	0	0	
交際費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
武蔵野市返納金	[ 8,967,328 ]	[ 794,723 ]	[ 1,482,693 ]	
武蔵野市返納金	8,967,328	794,723	1,482,693	
經常費用計	778,181,074	42,840,883	69,701,259	
評価損益等調整前当期經常増減額	△28,244,325	9,073,942	11,763,282	
当期經常増減額	△28,244,325	9,073,942	11,763,282	
2 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△28,244,325	9,073,942	11,763,282	
他会計振替額	8,592,813	△3,784,298	△4,657,056	
過年度他会計振替額	10,301,992	△10,301,992	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△9,349,520	△5,012,348	7,106,226	
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	0	
当期一般正味財産増減額	△9,349,520	△5,082,348	7,106,226	
一般正味財産期首残高	93,102,843	26,664,217	△51,006,130	
一般正味財産期末残高	83,753,323	21,581,869	△43,899,904	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	803,101,873	0	0	
指定正味財産期末残高	803,101,873	0	0	
III 正味財産期末残高	886,855,196	21,581,869	△43,899,904	

(単位 : 円)

収益事業等会計		法人会計	内部取引 等消去	合 計
他2 カフェ 事業	小計			
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 30,729,408 ]	[ 0 ]	[ 30,729,408 ]
0	0	1,779,000	0	1,779,000
0	0	7,455,324	0	7,455,324
0	0	264,239	0	264,239
0	0	36,900	0	36,900
0	0	1,270,598	0	1,270,598
0	0	6,615	0	6,615
0	0	15,563	0	15,563
0	0	94,504	0	94,504
0	0	1,169,257	0	1,169,257
0	0	86,066	0	86,066
0	0	1,240	0	1,240
0	0	148,202	0	148,202
0	0	171,957	0	171,957
0	0	983,879	0	983,879
0	0	16,362,047	0	16,362,047
0	0	84,956	0	84,956
0	0	708,424	0	708,424
0	0	88,073	0	88,073
0	0	2,564	0	2,564
[ 23,723 ]	[ 2,301,139 ]	[ 593,077 ]	[ 0 ]	[ 11,861,544 ]
23,723	2,301,139	593,077	0	11,861,544
687,935	113,230,077	31,322,485	0	922,733,636
327,089	21,164,313	2,080,012	0	△5,000,000
327,089	21,164,313	2,080,012	0	△5,000,000
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
327,089	21,164,313	2,080,012	0	△5,000,000
△151,459	△8,592,813	0	0	0
0	△10,301,992	0	0	0
175,630	2,269,508	2,080,012	0	△5,000,000
0	70,000	0	0	70,000
175,630	2,199,508	2,080,012	0	△5,070,000
25,107	△24,316,806	6,933,963	0	75,720,000
200,737	△22,117,298	9,013,975	0	70,650,000
0	0	0	0	0
0	0	0	0	803,101,873
0	0	0	0	803,101,873
200,737	△22,117,298	9,013,975	0	873,751,873

## 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない有価証券…取得原価

## (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

## (3) 固定資産の減価償却の方法

有形リース資産、無形リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース資産…備品は定率法、ソフトウェアは定額法によっている。

## (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度の期末退職金試算額を差し引いた額を計上している。

## (5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引・・・売買処理 ※

※法人の事業内容に照らして重要性が乏しいリース取引で、リース契約1件

あたりのリース料総額が300万円以下のリース取引・・・賃貸借処理

オペレーティング・リース取引・・・賃貸借処理

リース債務未払い金の残額は次のとおりである。

(単位：円)

総 額	1年以内に支払いの到来する金額	それ以外
什器備品 18,224,460	9,049,968	9,174,492
ソフトウェア 3,193,344	798,336	2,395,008
21,417,804	9,848,304	11,569,500

## (6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	796,720,000	0	0	796,720,000
投資有価証券	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	801,720,000	0	0	801,720,000
特定資産				
退職給付引当資産	22,964,271	6,444,866	810,360	28,598,777
公演積立資産	22,101,873	0	0	22,101,873
小 計	45,066,144	6,444,866	810,360	50,700,650
合 計	846,786,144	6,444,866	810,360	852,420,650

## 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	796,720,000	( 796,000,000 )	( 720,000 )	-
投資有価証券	5,000,000	( 5,000,000 )	( 0 )	-
小 計	801,720,000	( 801,000,000 )	( 720,000 )	-
特定資産				
退職給付引当資産	28,598,777	( 0 )	( 0 )	( 28,598,777 )
公演積立資産	22,101,873	( 2,101,873 )	( 20,000,000 )	( 0 )
小 計	50,700,650	( 2,101,873 )	( 20,000,000 )	( 28,598,777 )
合 計	852,420,650	( 803,101,873 )	( 20,720,000 )	( 28,598,777 )

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額、除却額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額、除却額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形リース資産	45,249,840	27,025,380	18,224,460
無形リース資産	3,991,680	798,336	3,193,344
合 計	49,241,520	27,823,716	21,417,804

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
伝統文化親子教室事業助成金	文化庁	0	155,000	155,000	0	-
芸術文化振興基金助成金	(独)日本芸術文化振興会	0	1,435,000	1,435,000	0	-
民間助成金						
地域文化の振興に資する次の顕彰及び助成	(公財)全国税理士共栄会文化財団	0	500,000	500,000	0	-
合 計		0	2,090,000	2,090,000	0	

6 重要な後発事象

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、令和2年4月7日に内閣総理大臣から発令された緊急事態宣言により、当団の各文化施設で開催予定であった4月・5月の公演は、軒並み中止・延期となった。

現在も当該感染症の感染拡大は続いており、緊急事態宣言の解除の時期は見通せないため、6月以降の公演の目途は立っておらず、現段階で公演の中止・延期が及ぼす次年度以降の財務諸表への影響を見積もることは困難である。

7 表示方法の変更

【貸借対照表】

1 名称変更

従来の基本財産「預金」、その他固定資産「什器備品」、流動負債「リース債務未払金」、固定負債「リース債務未払金」は、その内容をより正確に表すため、当年度より基本財産「定期預金」、その他固定資産「有形リース資産」、流動負債「1年内返済予定リース債務」、固定負債「リース債務」に、それぞれ名称変更することとした。

この表示方法の変更を反映させるため、前年度の財務諸表の組替えを行っている。

【正味財産増減計算書】

1 名称変更

従来の事業収益「その他事業収益」、受取補助金等「その他受取補助金」「受取民間補助金」は、その内容をより正確に表すため、当年度より事業収益「付帯サービス収益」、受取補助金等「受取日本芸術文化振興会補助金」「受取民間助成金」に、それぞれ名称変更することとした。

この表示方法の変更を反映させるため、前年度の財務諸表の組替えを行っている。

2 大科目の内訳変更

従来の受取補助金等「管理受託収益」、雑収益「ARTE友の会受取会費」は、公益法人会計基準の運用指針（平成20年4月 平成30年6月改正 内閣府公益認定等委員会）（以下、「運用指針」という。）の「12. 財務諸表の科目」に準拠した本来の位置に表すため、当年度より「管理受託収益」は大科目「事業収益」に、「ARTE友の会受取会費」は大科目「受取会費」に、それぞれ集計することとした。

この表示方法の変更を反映させるため、前年度の財務諸表の組替えを行っている。

3 事業費・管理費の表示方法の大幅な変更

従来の事業費・管理費は、運用指針の「12. 財務諸表の科目」に記載されている様な詳細な費目（給料手当・減価償却費・消耗品費など）ではなく、「人件費」「〇〇事業費」「運営費」等で表示しており、認定法施行規則第19条（公益認定等ガイドラインI-7-(1)）に定められている「事業費及び管理費のいずれにも共通して発生する関連費用の配賦」を行っていなかった。一方で、正味財産増減計算書内訳書では、詳細な費目で表示し、かつ、共通費用を按分していたため、正味財産増減計算書と正味財産増減計算書内訳書で、事業費・管理費の額が不一致となっていた。

当年度より、公益法人会計基準及びその関係法令等に準拠するため、前年度「正味財産増減計算書内訳書」に合わせて、事業費・管理費を表示することとした。

この表示方法の変更を反映させるため、前年度の財務諸表の組替えを行っている。

## 附 属 明 細 書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	22,964,271	6,444,866	810,360	0	28,598,777

別表 4

## 財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金 預金	手元保管 普通預金 三菱UFJ銀行吉祥寺支店 きらぼし銀行武蔵野支店 三井住友銀行三鷹支店 みずほ銀行吉祥寺支店 多摩信用金庫境支店 多摩信用金庫吉祥寺支店 多摩信用金庫武蔵野支店 山梨中央銀行吉祥寺支店 東京むさし農業協同組合武蔵野支店 大東京信用組合	運転資金として		3,590,357
		運転資金として		75,573,363
		運転資金として		6,550,032
		運転資金として		1,124,285
		運転資金として		10,748,450
		運転資金として		1,111,257
		運転資金として		17,327,823
		運転資金として		719,637
		運転資金として		1,493,558
		運転資金として		1,641,366
		運転資金として		599,314
		未収金	チケット購入者等からの未収額	チケット料及び芸術振興補助金など
前払金	郵便局、印刷業者等への前払額	DM送料や公演ちらし印刷代など チラシ配布料、チラシ等印刷費	2,748,780	
貯蔵品	電球など	芸術文化振興事業に使用している。	1,949,591	
立替金	役員及び職員等に対する立替額	労働保険料、社会保険料などの被保険者負担分	65,449	
仮払金	チケット購入者等への仮払額	延期・中止公演のチケット返金過払い 他	7,880	
流動資産合計				126,674,583
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
定期預金	みずほ銀行吉祥寺支店 三菱UFJ銀行吉祥寺支店 大東京信用組合吉祥寺支店 東京むさし農業協同組合武蔵野支店	公益目的保有財産であり、 運用益を芸術文化振興事業の 財源として使用している。	60,000,000	
			354,220,000	
			140,000,000	
			242,500,000	
<b>特定資産</b>				
投資有価証券	(株)エフエムむさしの	〃	5,000,000	
退職給付引当資産	定期預金 三菱UFJ銀行吉祥寺支店	役員及び職員への将来の退職金支払い に備えるために積み立てている預金。	28,598,777	
公演積立資産	定期預金 三菱UFJ銀行吉祥寺支店	公益目的事業である芸術文化振興事業の 積立資産であり、将来の芸術文化公演 等に充てるために積み立てている預金。	20,000,000	
			普通預金 三菱UFJ銀行吉祥寺支店	音楽普及啓発活動支援事業資金として寄付 を受けており、指定正味財産を財源とする 公益目的事業の積立預金である。
<b>その他固定資産</b>				
有形リース資産	メールサーバ 1台 情報通信基盤機器 1台	共用財産であり、うち79.3%は公益目的 保有財産として芸術文化振興事業に、 16.6%は収益事業等に、4.1%は管理運営 業務に使用している。	18,224,460	
			無形リース資産	会計システム
固定資産合計				873,838,454
資産合計				1,000,513,037
<b>(流動負債)</b>				
未払金	委託業者、年金事務所等への未払額 立川都税事務所、武蔵野市への未払額	施設管理委託、社会保険料など 法人都民税、法人市民税	44,868,344	
			70,000	
前受金	チケット購入者からの前受額	入場料収入の前受け	20,883,870	
預り金	役員及び職員等からの預り額	所得税、住民税、社会保険料他	10,922,369	
1年内返済予定 リース債務	リース会社への未経過リース料	リース資産に対応する未経過リース料 であり、翌1年以内に支払期限が 到来する額。	9,848,304	
流動負債合計				86,592,887
<b>(固定負債)</b>				
退職給付引当金	役員及び職員に対するもの	役員及び職員に対する退職金の 支払いに備えたもの。	28,598,777	
リース債務	リース会社への未経過リース料	リース資産に対応する未経過リース料 であり、翌1年を超えて支払期限が 到来する額。	11,569,500	
固定負債合計				40,168,277
負債合計				126,761,164
正味財産				873,751,873

## 主要事業の概要

### 1 芸術文化振興事業（事業団定款第4条第1項第1号関係）

#### (1) 重点事業、取組の概要

令和元年度も市民文化会館、芸能劇場、公会堂、スイングホール、吉祥寺シアターで国内外の一流アーティスト・舞台芸術団体による公演事業の企画・運営を行い、市民に優れた芸術文化を提供した。松露庵で実施する茶会、寄席も合わせ、音楽、演劇、伝統芸能などの文化事業を開催した。新たな試みとしては、市民文化会館の全館イベントである「アルテ親子まつり」のほか、「昼間のお気軽コンサート」、「NHK学園 短歌・俳句大会」、「家族みんなで楽しむ『オーケストラ・ファミリー・コンサート』」、「松竹大歌舞伎 二代目松本白鸚 十代目松本幸四郎 襲名披露」、吉祥寺シアターでの若手コンテンポラリーダンスアーティストを採り上げたショーケース型公演「吉祥寺ダンスリライト」を開催した。公演チケットはほぼ完売し、全体として事業運営は引き続き好調であった。総来場者数は、51,722名であった。

吉祥寺美術館においては、浜口陽三・萩原英雄両記念室での常設展を各4期開催したほか、企画展を4本開催した。また、既成の表現法にとらわれずに独自の方法と発想で制作された作品を軸に、市民協働によって作り上げる特別展示「武蔵野アール・ブリュット2019」を、市や実行委員会と共催した。総入館者数は、延べ22,196名であった。

市民がより身近で気軽に芸術文化に接する機会を持てるよう、前述した「アルテ親子まつり」「家族みんなで楽しむ『オーケストラ・ファミリー・コンサート』」のほか、劇団四季ファミリー・ミュージカル、人形劇団プーク「エルマーの冒険」、「KUUKI」、「おかあさんといっしょコンサート」、「親子で茶道教室」、吉祥寺シアターの「よみしばい」、「吉祥寺ファミリーシアター」、「Baby Theatre」などの充実、吉祥寺美術館での「きくちちき絵本展 しろとくろ」と連動したワークショップなど親子プログラムも充実させたほか、茶道教室やパイプオルガン・スクール、「オルガンワンダーランド」などの教育プログラム、学校・あそべえ等でのアウトリーチ事業、吉祥寺シアターでの「吉祥寺シアター演劇部／ダンス部」など参加型・体験型のワークショップや関連イベント、武蔵野市非核都市宣言平和事業からの委嘱を受けたファミリー向けのアウトリーチ作品「ぞうれっしやがやってきた」の製作・上演、地域向けの企画として、吉祥寺で活動するキン・シオタニ氏と協働した武蔵野を題材にしたトークライブの継続的開催、美術館での講演会やワークショップ、ダンスや音楽ともコラボレーションしたイベントなども積極的に実施し、特に武蔵野市立小・中学校へのアウトリーチについては10校12回の実施となった。こうした活動により市民の文化、福祉の向上を図るとともに、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与するよう努めた。

なお、10月には台風19号により、3月には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の閉館を行い、これに伴って該当する日程の公演については中止・延期とした。

#### (2) 事業概要（施設別）

##### ①市民文化会館における主催・共催・提携・協力事業

ア 音楽（オーケストラ、オペラ、ミュージカル、オルガン、室内楽、器楽、声楽、民族音楽、ポピュラー等のコンサート）

- イ 伝統芸能（歌舞伎公演）
  - ウ 第33回武蔵野シティバレエ
  - エ 教育プログラム（劇団四季、オーケストラ・ファミリー・コンサート、人形劇団ブーク、「おかあさんといっしょコンサート」、「こども芸能体験広場」、子ども茶道教室、パイプオルガンスクール）
- ②芸能劇場における主催事業
- ア 古典人形劇（結城座公演）
  - イ 伝統芸能（落語公演）
- ③公会堂における主催事業
- ア 伝統芸能（落語等公演）
- ④スイングホールにおける主催事業
- ア 音楽（ジャズ、民族音楽等公演）
  - イ 伝統芸能（落語等公演）
  - ウ 未就学児・保護者向け事業（「KUUKI」公演）
- ⑤吉祥寺美術館における主催事業
- ア 展覧会（常設展、企画展）
  - イ ワークショップ（「打ち込み象嵌（ぞうがん）でコースター作り」など）
  - ウ 企画展の関連イベント（講演会、野外彫刻ミニ鑑賞ツアーなど）
  - エ 「武蔵野アール・ブリュット2019」
- ⑥松露庵における主催・共催事業
- ア 伝統文化（茶会等）
  - イ 伝統芸能（落語等）
  - ウ 教育プログラム（茶道教室）
  - エ 地域活性化イベント（カフェイベント）
- ⑦吉祥寺シアターにおける主催・共催・提携・協力事業
- ア 演劇公演（SCOT、青年団、阿佐ヶ谷スパイダースなど）
  - イ ダンス公演（吉祥寺ダンスLAB.、吉祥寺ダンスリライト）
  - ウ ワークショップ（夏休みの演劇部&ダンス部）
  - エ 参加・交流事業（吉祥寺ファミリーシアター、アウトリーチ事業〈紙おしぼい、『よふかしの国』『ぞうれっしゃがやってきた』〉、Baby Theatre、キン・シオタニ「むさしのさんぽライブ」、アフターステージワークショップ）
  - オ 創造・育成型事業（同時代劇作家ワークショップ、吉祥寺ダンスLAB.）

## 2 文化団体活動振興事業（事業団定款第4条第1項第2号関係）

1986年から続く、市民参加型の「武蔵野シティバレエ」は第33回を迎え、11月19日に『コッペリア』を上演。公募による4月のオーディションで選ばれ、リハーサルを重ねた40名が、ゲストダンサーとともに市民文化会館の舞台に立ち、上演の実施につなげるなど、市民の芸術文化活動に寄与した。

また、市内のアマチュア芸術文化団体等の文化活動に対する援助などを行った。

### 3 文化施設の指定管理者としての事業（事業団定款第4条第1項第3号関係）

市と事業団との間で締結した「武蔵野市立武蔵野市民文化会館等の管理運営に関する基本協定」及び「武蔵野市立武蔵野市民文化会館等の管理運営に関する年度協定」に基づき、次の業務を実施した。

- (1) 市民文化会館、芸能劇場、公会堂、スイングホール、吉祥寺美術館、松露庵、吉祥寺シアター及びかたらいの道市民スペースの施設の保守及び維持管理に関すること
- (2) 市民文化会館、芸能劇場、公会堂、スイングホール、吉祥寺美術館、松露庵、吉祥寺シアター及びかたらいの道市民スペースの施設使用に関すること
- (3) 市民文化の振興を図るための「芸術文化団体」の登録、優先利用等に関すること
- (4) その他、市民文化会館、芸能劇場、公会堂、スイングホール、吉祥寺美術館、松露庵、吉祥寺シアター及びかたらいの道市民スペースの管理運営等に必要な事項

#### 文化施設の管理運営

##### <市民文化会館>

年間入場者数	258,254人
施設使用料	69,359,675円
利用率	大ホール79.8% 小ホール89.2%

##### <芸能劇場>

年間入場者数	34,428人
施設使用料	14,641,950円
利用率	小劇場82.6% 小ホール50.6%

##### <公会堂>

年間入場者数	75,137人
施設使用料	19,319,750円
利用率	ホール69.5% 会議室59.9%(平均)

##### <スイングホール>

年間入場者数	71,887人
施設使用料	24,401,400円
利用率	スイングホール76.4% スカイルーム58.0%(平均) レインボーサロン60.9%(平均)

##### <吉祥寺美術館>

年間入場者数	46,449人
美術館観覧料	2,659,400円
施設使用料	3,694,600円
利用率	企画展示室(市民ギャラリー)92.9%(平均) 音楽室93.0%

##### <松露庵>

年間入場者数	1,738人
施設使用料	398,000円
利用率	45.8%

<吉祥寺シアター>

年間入場者数	46,952人
施設使用料	22,545,510円
利用率	劇場100% けいこ場87.3%

<かたらいの道市民スペース>

年間入場者数	8,516人
施設使用料	1,848,100円
利用率	63.2%(平均)

※年間入場者数は貸館事業を含む入場者数。

#### 4 その他の事業（事業団定款第4条第1項第4号関係）

(1) アルテ友の会事業

事業団の事業目的の達成を助ける制度として、会員向け情報提供による普及、啓発等をおこない、チケット割引による購入促進につなげる友の会制度を実施した。

令和2年3月末での会員数は6,453人。

(2) グッズ販売、ミュージアムショップ事業

公演来場者へのCD等の販売、美術館におけるミュージアムショップの運営を行った。

(3) 受託チケット販売事業

指定管理を受ける施設の利用団体の公演で、窓口での販売希望があるものについて、10%の売上手数料を受け取り、販売を請け負う事業を行った

(4) ネットワーク事業

海外から独自招聘した音楽家や楽団を、希望する他のホール、音楽堂等に紹介、あっせんする事業を実施することにより、プロモーターを介さず低廉で良質な公演を提供するとともに、ネットワークを組むことにより招聘費用を分担でき、招聘費用のコスト減を図ることができた。マティアス・マイヤー・ホーファー等の公演で実施した。

(5) 市民文化会館カフェ・レストラン事業

市民文化会館2階にあるカフェ・レストラン「カノン」を運営する事業を実施し、市民文化会館利用者の利便性の向上を図った。

(6) 吉祥寺シアターカフェ事業

新たな運営事業者を選定し、4月よりシアターカフェ「吉祥 なおきち」としてリニューアルオープンした。単なる飲食の提供にとどまらず、劇場の上演作品とのコラボメニューなどの企画をカフェと劇場で協働し、積極的に展開している。施設利用者のみならず、近隣住民にも定着しつつある。

(7) 防災ボランティア訓練等の実施

施設の安全対策、災害時の拠点となる施設活用等のため、さまざまな訓練等への参加を行った。

施設利用者の安全確保のため、11月27日に事業団職員を対象とした「防犯訓練」を武蔵野警察署の協力を得て行った。

令和2年1月18日に、市が「災害ボランティアセンター」に位置づけている市民文化会館を会場として、市、市民社会福祉協議会と共同で、18回目の訓練を実施し、事業団職員が参加した。



# 公益財団法人武蔵野市国際交流協会

## 第1 概要

### 1 目的

公益財団法人武蔵野市国際交流協会（以下「協会」という。）は、武蔵野市における市民主体の国際交流及び国際協力並びに在住外国人への支援を推進することにより、国際相互理解と地域の多文化共生を図り、もって国際平和に寄与する開かれたまちづくりに貢献することを目的とする。

（協会定款第3条）

### 2 事業

- (1) 日本語学習の支援
- (2) 多言語による各種相談
- (3) 留学生の社会参加の促進
- (4) 多言語による生活情報の提供
- (5) 通訳者の派遣及び翻訳
- (6) 地域における国際理解の推進
- (7) 国際交流及び国際協力に関するボランティア活動の支援
- (8) 国際交流及び国際協力に関する地域団体との連携
- (9) 国際交流及び国際協力に関する調査研究及び広報
- (10) その他協会の目的を達成するために必要な事業

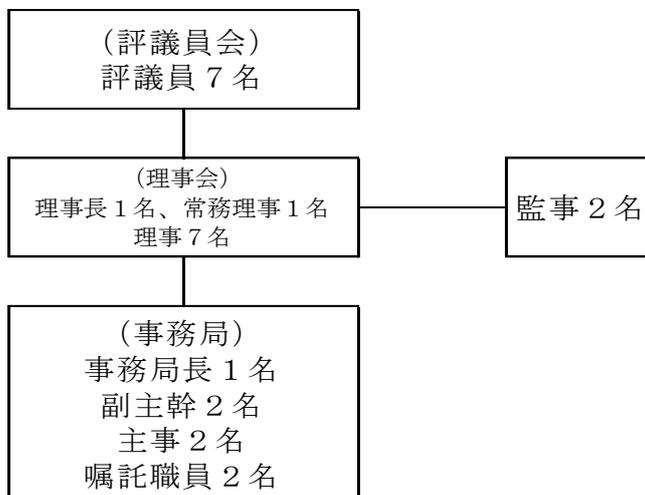
（協会定款第4条）

### 3 設立

平成元年10月13日 武蔵野市国際交流協会  
平成21年4月1日 一般財団法人武蔵野市国際交流協会  
平成22年4月1日 公益財団法人武蔵野市国際交流協会

### 4 組織

協会の組織は、下記の組織図のとおりである。（令和2年5月31日現在）



## 第2 事業の状況

### 1 経営状況

令和元年度の財務の状況は、別表1から別表4までのとおりである。

#### (1) 決算状況

経常収益は7,140万6千円、経常費用は7,075万6千円で、当期一般正味財産増減額は65万円である。

主な収益は、武蔵野市からの補助金6,640万円、事業収益366万4千円、会費127万9千円で、経常収益に占める割合は、それぞれ93.0%、5.1%、1.8%である。

主な支出は、事業費の給料手当2,842万6千円、事務所賃借料1,229万円、職員福利厚生費476万9千円、管理費の役員報酬445万8千円で、経常費用に占める割合は、それぞれ40.2%、17.4%、6.7%、6.3%である。

#### (2) 財政状況

##### ア 資産

令和元年度末における資産総額は1,905万7千円で、内訳は、流動資産が776万2千円、固定資産が1,129万5千円である。

流動資産は、当年度で32万1千円、前年度比4.3%増加している。これは現金預金が増加したためである。

固定資産は、当年度で100万5千円、前年度比9.8%増加している。これは、退職給付引当資産が増加したためである。

##### イ 負債

令和元年度末における負債総額は1,027万9千円で、内訳は、流動負債が198万4千円、固定負債が829万5千円である。

流動負債は、当年度で32万9千円、前年度比14.2%減少している。これは、未払金が減少したことが主な要因である。

固定負債は、当年度で100万5千円、前年度比13.8%増加している。これは、退職給付引当金が増加したためである。

##### ウ 正味財産

正味財産の合計は、877万8千円であり、経常収益が経常費用を上回ったことにより、前年度に比べ65万円(8.0%)増加している。

### 2 実施事業

令和元年度の主要事業の概要は、別紙のとおりである。

## 第3 補助金

令和元年度に市が協会に交付した補助金は、6,640万円で、交付状況は、次のとおりである。

所管課	補助金名	目的	根拠	交付額
多文化共生・交流課	公益財団法人武蔵野市国際交流協会運営費補助金	協会の運営に関する経費を補助することにより、国際相互理解及び国際親善を図る。	公益財団法人武蔵野市国際交流協会運営費補助金交付要綱	66,400,000円

補助金について、補助金交付申請書、補助金交付決定通知書、補助金実績報告書等を審査した結果、適正に処理されているものと認められた。

#### 第4 管理運営

##### 1 定款及び諸規程の整備

協会では定款のほか、事務規程、職員就業規程、会計処理規程、個人情報保護規程等を設け、事務処理等を行っている。

##### 2 会計処理

会計処理は、定款、会計処理規程、契約事務規程のほか、公益法人会計基準に基づき行われている。

##### 3 基本財産の管理

###### (1) 基本財産

協会の基本財産は300万円で、一般財団法人設立時（平成21年4月1日）に市が100%拠出している。

###### (2) 基本財産の保管及び運用益

基本財産300万円は、定期預金（自動継続型、期間1年、利率0.01%）として預金されており、令和元年度は300円の利息収入があった。預金先及び内訳は、次の表のとおりである。

金融機関	金額	利息収入
三菱UFJ銀行	3,000,000円	300円

##### 4 個人情報の保護及び管理体制

協会では、個人情報保護規程及び特定個人情報の保護に関する規程を定めている。個人情報を取り扱うパソコンは、セキュリティワイヤーを取り付け、盗難防止を図っている。インターネットには接続しておらず、外部からの不正アクセス等も防止している。また、個人情報や特定個人情報を含む書類については鍵のかかるキャビネットに保管している。

年1回、事務局会議内で情報セキュリティ研修を実施している。

##### 5 備品等の管理

協会会計処理規程第25～28条では、什器備品のうち、有形固定資産は取得価格が10万円以上のもの、物品は耐用年数1年以上で、3万円以上20万円以下のものとし、それぞれ固定資産台帳、什器備品台帳を備え、記録することと規定している。しかし、公益財団法人の現協会が旧国際交流協会から財産を継承した後、有形固定資産に該当するものは購入していないため、固定資産台帳は作成していない。

また、物品に該当するものは、協会会計処理規程第7条、別表（勘定科目一覧表）により、購入年度に消耗什器備品費として費用計上している。これは、公益法人会計基準注解の「（注1）重要性の原則の適用について」で認められている会計処理である。

管理運営について、総勘定元帳、振替伝票、現金・預金出納帳、超過勤務等命令書、出張命令簿等を審査し、書類の保管状況等を実地調査及びヒアリングした結果、下記の事項を除き、おおむね適正に実施されているものと認められた。

## 記

### [協会 指摘事項]

- 1 抽出して備品の現物確認をしたところ、確認できないものがあった。
- 2 超過勤務等命令書において、割増区分別実務時間数に記載誤りが見受けられた。
- 3 超過勤務時間集計表において、端数処理の誤りがあった。また、割増区分別実務時間数の入力誤りが見受けられた。

会計処理規程等に基づき、適正に処理されたい。

### [協会 監査意見]

#### 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応について

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、イベント等は中止したが、相談事業はリモートや飛沫防止等の対策のもと継続して実施された。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策を十分とったうえで、協会事業の充実を図られたい。

### [多文化共生・交流課 監査意見]

#### 1 協会への指導監督について

令和2年度の定時評議員会において、当市市民部交流事業担当部長の役職が常務理事から評議員に変更となった。市と協会との打合せ機会を充実させるなど、市と協会との連携に留意されたい。

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	7,762,343	7,425,904	336,439
小口現金	269,008	129,710	139,298
普通預金	7,425,357	5,613,512	1,811,845
郵便貯金	67,978	1,682,682	△ 1,614,704
未収金	0	15,000	△ 15,000
流動資産合計	7,762,343	7,440,904	321,439
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	8,294,712	7,289,288	1,005,424
特定資産合計	8,294,712	7,289,288	1,005,424
固定資産合計	11,294,712	10,289,288	1,005,424
資産合計	19,057,055	17,730,192	1,326,863
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	11,852	289,228	△ 277,376
前受会費	1,245,000	1,291,000	△ 46,000
前受金	72,000	145,800	△ 73,800
預り金	655,162	586,754	68,408
流動負債合計	1,984,014	2,312,782	△ 328,768
2 固定負債			
退職給付引当金	8,294,712	7,289,288	1,005,424
固定負債合計	8,294,712	7,289,288	1,005,424
負債合計	10,278,726	9,602,070	676,656
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計(基本財産へ充当)	3,000,000	3,000,000	0
2 一般正味財産	5,778,329	5,128,122	650,207
正味財産合計	8,778,329	8,128,122	650,207
負債及び正味財産合計	19,057,055	17,730,192	1,326,863

## 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	300	300	0	
基本財産受取利息	300	300	0	定期預金運用
特定資産運用益	70	62	8	
特定資産受取利息	70	62	8	退職給付引当資産運用
受取会費	1,279,000	1,437,600	△ 158,600	
個人受取会費	998,000	1,142,900	△ 144,900	1口2.5千円 3年会員6千円
家族受取会費	92,000	84,700	7,300	1口3.5千円 3年会員9千円
団体受取会費	189,000	210,000	△ 21,000	1口10千円/11千円
事業収益	3,663,650	4,378,000	△ 714,350	
日本語学習の支援	927,250	1,395,500	△ 468,250	日本語コース参加者負担金等
通訳者の派遣及び翻訳	1,357,000	1,532,000	△ 175,000	通訳派遣料及び翻訳料
地域における国際理解の推進	432,400	374,200	58,200	青年WS、国際交流まつり等
ボランティア活動の支援	492,000	543,400	△ 51,400	外国人会員企画事業等
地域団体連携	200,000	247,900	△ 47,900	地域団体への講師派遣等
国際交流及び協力に関する広報	255,000	285,000	△ 30,000	バナー広告料
受取補助金等	66,442,380	62,214,000	4,228,380	
市受取補助金	66,400,000	62,200,000	4,200,000	武蔵野市からの運営補助金
その他補助金	42,380	14,000	28,380	市勤労者互助会健診費用助成金等
受取寄付金	12,857	32,000	△ 19,143	
受取寄付金	12,857	32,000	△ 19,143	会員寄付等
雑収益	7,584	22,472	△ 14,888	
受取利息	134	147	△ 13	普通預金利息
雑収益	7,450	22,325	△ 14,875	複写機使用負担金等
経常収益計	71,405,841	68,084,434	3,321,407	
(2) 経常費用				
事業費	61,974,921	60,234,847	1,740,074	協会の事業に要する経費
給料手当	28,426,452	28,068,426	358,026	常勤職員6名
通勤費	515,542	372,455	143,087	同上
臨時雇賃金	1,240,648	1,179,600	61,048	アルバイト職員
福利厚生費用	4,769,348	4,643,140	126,208	常勤職員6名
退職給付費用	1,005,424	818,888	186,536	常勤職員3名
会議費	62,083	66,152	△ 4,069	委員会、反省会等
旅費交通費	1,481,753	1,492,530	△ 10,777	ボランティア交通費等
通信運搬費	680,094	593,391	86,703	郵送料、宅配便等
消耗品費	990,233	1,035,172	△ 44,939	事務用品、材料費等
筆耕翻訳料	480,000	480,000	0	MIA Calendar翻訳料等
印刷製本費	2,902,620	2,009,342	893,278	機関紙、Calendar印刷、クリアファイル作成
賃借料	12,289,734	12,176,915	112,819	事務所賃借料
広告料	2,069,916	2,040,912	29,004	むさしのFM番組放送料、HP運営費
保険料	150,800	153,080	△ 2,280	ボランティア、事務所保険等
支払手数料	41,228	46,254	△ 5,026	振込手数料等
諸謝金	2,467,725	2,853,125	△ 385,400	各事業謝礼金
支払助成金	557,859	537,813	20,046	地域の国際交流事業助成等
委託費	1,843,462	1,667,652	175,810	複写機保守料、ホームページ作成委託等

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
管 理 費	8,780,713	8,801,614	△ 20,901	協会の管理に要する経費
役員報酬	4,458,000	4,422,000	36,000	理事、評議員、監事、監査報酬等
通勤費	232,408	220,500	11,908	理事長分
福利厚生費	56,298	218,725	△ 162,427	同上
交際費	27,318	36,456	△ 9,138	新年会、地域団体合費等
会議費	5,318	2,806	2,512	
旅費交通費	272	1,692	△ 1,420	
通信運搬費	326,672	342,024	△ 15,352	電話料、郵送料等
消耗什器備品費	296,690	291,788	4,902	パソコン、事務機器等
消耗品費	115,850	160,366	△ 44,516	事務用品等
図書・研修費	109,852	76,791	33,061	新聞購読料、書籍代、研修費等
修繕費	135,712	5,400	130,312	事務所、事務機器修繕等
光熱水料費	273,336	295,636	△ 22,300	電気使用料等
賃借料	1,327,497	1,236,884	90,613	事務用機器リース料
事務所管理費	835,812	897,156	△ 61,344	事務所専用部分業務費等
支払手数料	26,267	19,694	6,573	振込手数料等
租税公課	4,800	4,900	△ 100	登記料、印紙税等
支払負担金	52,000	51,000	1,000	負担金、年会費等
委託費	496,611	517,796	△ 21,185	会計ソフトサポート、会計顧問料等
経常費用計	70,755,634	69,036,461	1,719,173	
評価損益等調整前当期経常増減額	650,207	△ 952,027	1,602,234	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	650,207	△ 952,027	1,602,234	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	650,207	△ 952,027	1,602,234	
一般正味財産期首残高	5,128,122	6,080,149	△ 952,027	
一般正味財産期末残高	5,778,329	5,128,122	650,207	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	8,778,329	8,128,122	650,207	

## 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

公益財団法人 武蔵野市国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	300	300
基本財産受取利息	0	300	300
特定資産運用益	56	14	70
特定資産受取利息	56	14	70
受取会費	1,279,000	0	1,279,000
個人受取会費	998,000	0	998,000
家族受取会費	92,000	0	92,000
団体受取会費	189,000	0	189,000
事業収益	3,663,650	0	3,663,650
日本学習の支援	927,250	0	927,250
通訳者の派遣及び翻訳	1,357,000	0	1,357,000
地域における国際理解の推進	432,400	0	432,400
ボランティア活動の支援	492,000	0	492,000
地域団体連携	200,000	0	200,000
国際交流及び協力に関する広報	255,000	0	255,000
受取補助金等	56,012,000	10,430,380	66,442,380
市受取補助金	56,000,000	10,400,000	66,400,000
その他補助金	12,000	30,380	42,380
受取寄付金	12,857	0	12,857
受取寄付金	12,857	0	12,857
雑収益	7,540	44	7,584
受取利息	90	44	134
雑収益	7,450	0	7,450
経常収益計	60,975,103	10,430,738	71,405,841
(2) 経常費用			
事業費	61,974,921	0	61,974,921
給料手当	28,426,452	0	28,426,452
通勤費	515,542	0	515,542
臨時雇賃金	1,240,648	0	1,240,648
福利厚生費	4,769,348	0	4,769,348
退職給付費用	1,005,424	0	1,005,424
会議費	62,083	0	62,083
旅費交通費	1,481,753	0	1,481,753
通信運搬費	680,094	0	680,094
消耗品費	990,233	0	990,233
筆耕翻訳料	480,000	0	480,000
印刷製本費	2,902,620	0	2,902,620
賃借料	12,289,734	0	12,289,734
広告料	2,069,916	0	2,069,916
保険料	150,800	0	150,800
支払手数料	41,228	0	41,228
諸謝金	2,467,725	0	2,467,725
支払助成金	557,859	0	557,859
委託費	1,843,462	0	1,843,462

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
管 理 費	0	8,780,713	8,780,713
役員報酬	0	4,458,000	4,458,000
通勤費	0	232,408	232,408
福利厚生費	0	56,298	56,298
交際費	0	27,318	27,318
会議費	0	5,318	5,318
旅費交通費	0	272	272
通信運搬費	0	326,672	326,672
消耗什器備品費	0	296,690	296,690
消耗品費	0	115,850	115,850
図書・研修費	0	109,852	109,852
修繕費	0	135,712	135,712
光熱水料費	0	273,336	273,336
賃借料	0	1,327,497	1,327,497
事務所管理費	0	835,812	835,812
支払手数料	0	26,267	26,267
租税公課	0	4,800	4,800
支払負担金	0	52,000	52,000
委託費	0	496,611	496,611
經常費用計	61,974,921	8,780,713	70,755,634
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 999,818	1,650,025	650,207
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 999,818	1,650,025	650,207
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 999,818	1,650,025	650,207
一般正味財産期首残高	2,394,665	2,733,457	5,128,122
一般正味財産期末残高	1,394,847	4,383,482	5,778,329
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高	1,394,847	7,383,482	8,778,329

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 会計処理基準

平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会により定められた公益法人会計基準の運用指針に基づき処理している。

#### (2) 退職給付引当金の計上基準について

期末日現在の在籍者が期末日に退職した場合の要支給額全額を計上している。

#### (3) 前受会費について

納入された会員の会費は協会規程に定められた会員の期限に基づき充当期間を定め、翌期以降の充当分については前受会費に計上している。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

#### (1) 公益目的事業会計

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 退職給付引当資産	5,789,288	1,005,424	0	6,794,712
合計	5,789,288	1,005,424	0	6,794,712

#### (2) 法人会計

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産 退職給付引当資産	1,500,000	0	0	1,500,000
合計	4,500,000	0	0	4,500,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

#### (1) 公益目的事業会計

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産 退職給付引当資産	6,794,712	-	-	(6,794,712)
合 計	6,794,712	-	-	(6,794,712)

#### (2) 法人会計

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	-
特定資産 退職給付引当資産	1,500,000	-	-	(1,500,000)
合 計	4,500,000	3,000,000	0	(1,500,000)

### 4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の 名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表 上の 記載区分
運営費補助金	武蔵野市	0	66,400,000	66,400,000	0	一般正味 財産
定期健康診断 助成金	武蔵野市勤 労者互助会	0	14,000	14,000	0	一般正味 財産
多文化共生 研修助成金	自治体国際 化協会	0	28,380	28,380	0	一般正味 財産
合 計		0	66,442,380	66,442,380	0	

## 附 属 明 細 書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

#### (1) 公益目的事業会計 (単位：円)

区分	資産種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定 資産	退職給付引当 資産	5,789,288	1,005,424	0	6,794,712
	特定資産計	5,789,288	1,005,424	0	6,794,712

#### (2) 法人会計

区分	資産種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
基本 財産	定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定 資産	退職給付引当 資産	1,500,000	0	0	1,500,000
	特定資産計	1,500,000	0	0	1,500,000

### 2 引当金の明細

#### (1) 公益目的事業会計 (単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	5,789,288	1,005,424	0	6,794,712

#### (2) 法人会計

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	1,500,000	0	0	1,500,000

別表 4

## 財産目録

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	269,008	
		普通預金		7,425,357	
		多摩信用金庫境支店(事業)	運転資金として	539,454	
		三菱UFJ銀行	運転資金として		
		武蔵境駅前支店(事業)		2,446,929	
		多摩信用金庫境支店(法人)	運転資金として	326,709	
		三菱UFJ銀行 武蔵境駅前支店(法人)	運転資金として	4,112,265	
	郵便貯金		67,978		
	武蔵野郵便局	運転資金として	67,978		
流動資産合計				7,762,343	
(固定資産)	基本財産	定期預金		3,000,000	
		三菱UFJ銀行 武蔵境駅前支店(法人)		3,000,000	
		特定資産			
	退職給付引当資産	普通預金		8,294,712	
		三菱UFJ銀行 武蔵境駅前支店(事業・法人)	理事長及び職員3名の退職金の支払に備えたもの	8,294,712	
固定資産合計				11,294,712	
資産合計				19,057,055	
(流動負債)	未払金 前受会費 個人前受会費 家族前受会費 団体前受会費 前受金 バナー広告料 日本語コース参加費 預り金 源泉所得税 住民税 社会保険料 雇用保険料 謝金・源泉税		来年度以降充当の前受会費	11,852	
				1,245,000	
				1,044,500	
				93,500	
				107,000	
				72,000	
				66,000	
				6,000	
			個人負担分の所得税等		655,162
					183,112
					2,400
					295,106
					85,393
			89,151		
流動負債合計				1,984,014	
(固定負債)	退職給付引当金		理事長及び職員3名の退職金の支払に備えたもの	8,294,712	
固定負債合計				8,294,712	
負債合計				10,278,726	
正味財産				8,778,329	

## 主要事業の概要

事業名	施策の概要と成果
<p>■日本語学習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語コース</li>   <li>・日本語スピーチ大会 【リハーサルのみ】</li> <li>・日本語交流員ステップアップ研修</li> <li>・外国人の親子支援検討委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で参加できる木曜日コース（3期）参加者：延 60名（20カ国）、保育数：延 17名、親子で参加できる金曜日コース（3期）参加者：延 47名（15カ国）、保育数：延 21名、土曜日コース（3期）参加者：延 37名（16カ国）、EPA 特別コース参加者：5名（1カ国）、外国人児童生徒学習支援コース（水曜日）参加者：延 29名（6カ国）、外国人児童・生徒学習支援夏休みコース参加者：7名、夏休みお楽しみ会など参加者：18名</li> <li>・登壇者：6カ国7名、関係者12名</li> <li>・隔年実施 参加者：延 32名（3回）</li> <li>・日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス参加者：191名、外国人こども発表会&amp;親子交流会 来場者：35名</li> </ul>
<p>■多言語による各種相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人のための無料専門家相談会</li> <li>・予約制専門家相談</li> <li>・語学ボランティア研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者：25人（13カ国6言語）、運営者：専門家11名6分野、語学ボランティア：35名16言語）</li> <li>・年9回開催、相談者：13名、専門家：9名</li> <li>・年4回開催、参加者：延86名</li> </ul>
<p>■留学生の社会参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「留学生」むさしのファミリープログラム</li> <li>・留学生の社会参加に関する講座研修等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化交流会参加者：留学生33名、ファミリー等66名、交流パーティー参加者：留学生66名、ファミリー131名</li> <li>・「留学生」ファミリープログラム実践講座 参加者：31名</li> </ul>
<p>■多言語による生活情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語相談・情報提供窓口</li> <li>・MIA Calendar（多言語情報紙）</li> <li>・むさしのFMラジオ番組</li> <li>・外国人のための防災事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数：330件、相談者数：313名、対応言語：9言語</li> <li>・年4回 2,600部（英語、中国語、スペイン語、日本語）</li> <li>・「News from MIA」月～金の5分番組、及び「MIAプラザ」月1回土曜日に30分トーク番組放送</li> <li>・外国人のための防災委員会を年3回開催のほか、市水防訓練、市防災ボランティア訓練等に参加</li> </ul>
<p>■通訳者の派遣及び翻訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳者派遣</li> <li>・翻訳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応件数：155件（8言語）</li> <li>・対応件数：23件（10言語）</li> </ul>
<p>■地域における国際理解の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民国際交流・協力・多文化共生推進事業</li> <li>・青年ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解プログラム「ルーマニアの文化とことば」2講座、「ルーマニア民族音楽」1講座開催（会場は武蔵境、吉祥寺の各エリアを使用）</li> <li>・成蹊大学文学部演習への協力（2回）参加者：延20名、多文化ミュージアム（2日間）来場者：150名</li> </ul>

事業名	施策の概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・むさしの国際交流まつり 2020</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者：約 3,000 名、スイング 2 階：多文化ステージ、9 階：リアル！MIA 体験、10 階：多文化体験ミュージアム、11 階：多文化カフェ、その他スタンプラリーの開催など</li> </ul>
<p>■国際交流及び国際協力に関するボランティア活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア自主事業推進委員会</li> <li>・イベントグループ</li> <li>・FM ラジオ番組運営委員会</li> <li>・情報紙編集委員会(ボランティア活動情報紙)</li> <li>・外国人ボランティア支援グループ</li> <li>・こども国際交流クラブ</li> <li>・地域への外国人等派遣</li> <li>・シリーズ「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」</li> <li>・外国語会話交流教室</li> <li>・外国人会員企画事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全 3 回開催 出席者：延 39 名</li> <li>・「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」シリーズの当日運営サポート 6 回、準備ミーティング 4 回開催</li> <li>・MIA が提供する番組の企画・運営</li> <li>・「MIA Volunteer News」の発行：年 3 回 各 1,300 部</li> <li>・外国人会員企画事業等の後方支援 活動回数：14 回</li> <li>・お料理コース全 7 回 参加者：延 118 名（親子）</li> <li>・派遣回数：7 回、参加者：延 424 名</li> <li>・全 4 回（トルコ、マレーシア、ベトナム、タジキスタン）参加者：延 106 名</li> <li>・年 4 コース（エジプト・アラビア語、イタリア語、タイ語、ミャンマー語）参加者：延 68 名</li> <li>・世界の家庭料理教室 4 回（スリランカ、バングラデシュ、ベネズエラ、インドネシア）、アロマセラピー 2 回 参加者：延 101 名</li> </ul>
<p>■国際交流及び国際協力に関する地域団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携・共催</li> <li>・他団体との協働・助成・後援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「亜細亜大学国際関係学部多文化コミュニケーション学科講義」等へボランティア及び MIA 職員を派遣（10 回）参加者：362 名、「地域のイベント等への参加」10 件（武蔵境ピクニック、境マルシェ、盆踊り等）ほか</li> <li>・助成 2 件、共催・後援 2 件</li> </ul>
<p>■国際交流及び協力に関する広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙「むさしの FRIENDS」の発行</li> <li>・MIA ホームページによる発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙「むさしの FRIENDS」年 4 回発行、各月 1,600 部、年間特集テーマ「未来へつなぐ多文化の和 - MIA30 周年目の課題」</li> <li>・MIA ホームページによる発信 HP アクセス件数：186,400 件</li> </ul>